



この「かぶっとこ通信」では、各校の自転車通学時のヘルメット着用推進に係る取組事例やトピックとなる情報を紹介していきます。

今回は、高岡高等学校の取組を紹介します。



■高岡高等学校14名の生徒によるヘルメット着用パレード

生徒14名（自転車隊12名、のぼり旗隊2名）が、警察と連携した自転車交通安全パレードへ参加

令和3年6月21日、土佐警察署が主催するパレードに高岡高等学校の生徒が参加し、県民の方々に自転車の安全利用などを呼び掛けました。パレードでは、パトカーを先頭に自転車隊生徒12名がヘルメットを着用し自転車で、のぼり旗隊生徒2名が旗を持ってランニングで、高岡高等学校からサニーマート高岡店まで走り抜けました。その後、安全な自転車利用を呼びかける啓発物の配付を店舗前で実施しました。



「自転車ヘルメット着用には、恥ずかしいという気持ちもあるが、転倒した際には、頭部を守ってくれる自転車ヘルメットの着用はとても大切なことなので、このパレードを通して、少しでも多くの人々が自転車ヘルメットを着用してくれることにつながると嬉しいです。」

生徒会長への取材から